

昴 ☆ 共生社会研究所

「所友研修」(所員企画) が始まります。

今年度の「所友研修」が10月に開始されます。所員一人ひとりが「所友」(昴 ☆ 共生社会研究所 HIP 参照)の皆さんと交渉や打ち合わせをして企画した職員研修です。この研修会は参加者を10人までに限定し、講師と膝を突き合わせて討議ができる研修です。会場はライスオンで、夕食の無料サービスがつかえます。参加希望者が定員を超えた場合は抽選等による選考となります。

現在のところ、決まっている企画は次の通りです。

日程	講師	分野	担当
10/17	相馬 大祐氏	高齢の知的障害者	高良
11/7	稲沢 公一氏	精神障害者福祉	小川
11/26	藤井 亘氏	外出支援	石井
1/16	新井 利民氏		降旗
未定	その後3回		
	続きます。		

企画した所員が詳細についてチラシ等で発信しますので、参加の申し込みはその都度企画者まで。

すばるセミナー2015

企画について

恒例のすばるセミナーの企画を進めています。概ねの計画がまとまりましたので明らかにします。

主テーマ「これからの福祉・医療の課題」

日程 2015年3月4日(水) 午後1:30~

講師 辻 哲夫氏

(東京大学高齢社会総合研究機構特任教授)

田口 孝行氏

(埼玉県立大学教授/IPE プロジェクトリーダー)

柴崎 智美氏

(埼玉医科大学地域医学医療センター准教授)

我が国の社会保障制度は高齢社会の進行によって、その持続可能性はおろか破局さえ憂慮されています。

そのような中で、将来をどのように見定め社会を変えていかなければならないかを考え、また福祉・医療の最前線にいる我々はどんな仕事を期待されるのか考えるセミナーにしたいと思います。

ウィークデイの開催になりますが、障害分野だけでなく高齢者分野や医療従事者にも広く呼び掛けていきます。

IPE (Inter Professional Education)

= 専門職連携教育

来年のセミナーは、急速に進行する超高齢社会に耐える社会の在り方を福祉と医療の連携体制をキーワードに考えていこうというテーマで開催します。

メインの講演をしていただく辻哲夫氏は、厚生労働省の事務次官を退官した後に、天下りせず、自分で大学の教員に応募し、ある私大を経て東大に赴任しました。東大では5年前に開設された高齢社会総合研究機構で千葉県柏市をモデルにしたいわゆる「柏プロジェクト」などにも参加し、地域における医療・介護体制構築の研究をしています。

辻さんと、そのような打合せをしている時に、地域における多職種の連携こそが、医療・介護・福祉体制を支える根幹になり、それをめざして行われるIPEはきわめて重要だという話が出ました。

そこで、開学以来IPEに取り組んできた、埼玉県立大学に話を持ち込んだところ、昴でも、数年前から県立大や埼玉医大のIP実習チームを受容れている経緯もあり、県立大と埼玉医大の教員の方々がセミナーへの登壇を快諾してくれました。セミナーではIPE(教育)とIPW(専門職連携協働)についての講演(対談式)をいただきます。

かうんと5頑張っています。

もうすぐLINEのスタンプと来年カレンダーを発売する予定です。



→ スタンプの1例

2015年かうんと5
カレンダー表紙

